

ロボの下半身問題編

エ	スナックエルベ、今夜も開店です。さてさて、今夜はどんなお客がくるのかしら…？
エ	スナックエルベのパープルタイム（キャッチ）ー カランカラン（ドアベル）
小	こんばんわー、今夜も閑古鳥ね
エ	あらいらっしゃい小野さん。小野さんも毎晩暇そうね
小	余計なお世話よ！ママ、小野のボトルで水割り二つ。乾杯しましょ カランカラン（氷）
エ	はい、おまたせ
二人	カンパーイ
小	そういえば今日はママに相談があって…
ロボ音	
小	あっ、来たみたい
あ	こんばんわー
小	この人、私の後輩のあずらいちさん。ロボだからロボって呼んでね。2回目だから、ママはもう知ってるでしょ？
エ	そりゃあロボだもの、覚えてるわよ
あ	ありがとうございます、うれしいなあうえっへっへっ （気持ち悪い笑い）
	ちゅどーん（なんか爆発音）

小 ほら店内で爆撃しない！エルベママ、今日はロボのことで相談したいことがあるんだけど

エ ロボ？なにになに

小 実はね、ロボの下半身が使い物にならないのよ

ちゃーらーん

エ・あ なんだってー！

小 この人ロボの癖にウオシュレットが大好きで、しかも仕事をサボってマメに洗浄してたでしょう？機械が錆びちゃって部品交換しなきゃいけないのよ。それでせっかくだから無駄な男性機能は撤廃して、代わりに何か違う便利機能を付けたい、と思ったんだけど

エ なるほど、便利機能ねー

小 私はロボと言ったら炊飯器くらいしか思いつかなくて。でも下半身で炊いた米なんて食べたくないし。姐さんだったら、どんなスペックがいいと思う？

エ (アドリブよろしく)

小 なるほどなるほど (的な)、じゃあロボは？

あ (アドリブよろしく)

小 なるほどなるほど (的な)、予算が許せばいいけどね

テキトーに笑って終わる

エ ロボの下半身には夢と希望が詰まってるみたいだぞ☆彡
下半身の悩みを抱えるあなた、ぜひスナックエルベに相談に来てね。それでは今夜は閉店です